

# 御木本幸吉生誕150周年記念事業を開催します

今年、真珠王・御木本幸吉翁の生誕150年を迎える記念すべき年です。幸吉翁がこれまで残してきた功績は、わたしたちにとって誇れるものであり、鳥羽から全国・全世界へと発信できるものです。

生誕150年という節目をきっかけにして、世界の真珠王の功績をもう一度考えてみませんか？

そんな思いから、「人間・御木本幸吉」にスポットを当てたさまざまな記念事業を開催します。



写真提供：ミキモト真珠島

御木本幸吉生誕150周年記念事業実行委員会  
(事務局 農水商工観光課観光戦略室)  
☎1157

## 記念事業の開催にあたって

天然真珠が三重県で500gしか採れなかった時代に、御木本幸吉翁は真珠養殖に成功し、「世界の真珠王」と呼ばれるまでになりました。

かの発明王・エジソンにも、「ダイヤモンドと真珠だけではどうすることもできなかった」と言わしめた鳥羽の偉人をこれからも大切にし、その功績や人柄、そして真珠という文化を鳥羽のために活用させていいただき、今一度、郷土愛や地域振興を深めていきたいと考えています。

生誕150年という記念すべき今年を契機に、御木本幸吉という人物像にスポットを当て、彼が持つ文化的・人間的な面を勉強しながら、持続性のある事業展開を図っていきます。

## 郷土愛の醸成を目指して

### 【記念式典の開催】

「希望ある人間はどこか輝かしいものを持っている」この幸吉語録には、夢と希望を持ち、それに情熱を燃やして努力を惜しまないような人生観を持っていれば、いくつになっても若い心を持ち続け、夢と希望を抱いて輝くこ

とができるという思いが込められています。

長生きをして世のために尽くさねばならないと思いつく、真珠という財産を郷土に残してくれた幸吉翁の功績をたえて、ミキモト真珠島を舞台に記念式典を執り行います。



### 【記念講演「桂三枝師匠・中村名誉館長座談会」】

また、養殖真珠発明100周年の際に、「夢いちもんめ・真珠王御木本幸吉物語」という創作落語を発表したり、愛知万博では鳥羽市観光協会と一緒に「世界真珠婚式」を開催したりするなど、鳥羽にゆかりの深い桂三枝師匠をお招きし、「御木本幸吉」をテーマにした座談会を、鳥羽水族館の中村幸昭名誉館長の聞き手により開催します。

## 学校教育への活用のために

### 【出前トーク】

「小学生の手本になりたい」小学生が持つ純粋な目と、未来あふれる若さにはかなわないと思っていた幸吉翁は、「小学生がこわい」と恐れる一方で「わしの理想は小学生の手本になることだ」とも言っていました。人間として理想の生き方は、子どもたちに対して堂々と誇りの持てる生き方であるといえるでしょう。

このことから、市内3か所程度の会場で、ミキモト真珠島真珠博物館の松月清郎館長を講師に、市民のかたがた(特に小中学生)を対象とした出前トークを開催します。

トークの中では、テキストやアニメーションを交えながら、楽しく幸吉翁の功績を伝えていきます。

### 【市民演劇】

また、鳥羽春まつりなどでも活躍いただいている、市民劇団「かたらづか劇団」による歌あり笑いあり涙ありの市民演劇を開催します。ここでは、真珠養殖を成功させるに至る幸吉翁の半生をどのように表現できるのかが見ものです。

